

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場会社名 株式会社ジーテクト 上場取引所 東
 コード番号 5970 URL http://www.g-tekt.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菊池 俊嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 吉沢 勲 (TEL) 048-646-3400
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 平成27年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同期四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	112,185	24.2	6,060	48.5	5,463	38.2	3,462	50.3
27年3月期第2四半期	90,339	4.4	4,080	△36.0	3,954	△37.6	2,304	△38.5

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 4,325百万円(118.3%) 27年3月期第2四半期 1,981百万円(△83.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	79.03	—
27年3月期第2四半期	52.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	227,524	119,117	47.3
27年3月期	227,690	116,044	46.0

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 107,546百万円 27年3月期 104,701百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	11.00	—	13.00	24.00
28年3月期	—	15.00			
28年3月期(予想)			—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	212,000	9.4	11,400	18.2	10,100	12.4	5,400	16.1	123.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) G-TEKT MEXICO CORP.、除外 1社(社名) —
S. A. DE C. V.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	43,931,260株	27年3月期	43,931,260株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	306,962株	27年3月期	44,662株
----------	----------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	43,809,073株	27年3月期2Q	43,886,767株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

<u>目 次</u>		頁
1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示	4
3.	四半期連結財務諸表	5
	(1) 四半期連結貸借対照表	5
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
	(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
	(継続企業の前提に関する注記)	11
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
	(セグメント情報等)	12
	(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内の経済情勢は、設備投資の陰りや輸出の減少などが認められ、景気が停滞しています。

海外においては、米国は内需が堅調で、金融市場の正常化を目指す動きがある一方、中国経済の減速、資源価格の下落が資源国や東南アジア等の新興国経済に影響を与えており、全体として景気が停滞しています。

自動車業界におきましては、国内は、景気の足踏みや軽自動車増税等により、販売が低迷したことから、生産台数が減少しました。海外では、北米で好調な市場環境が続いていますが、東南アジアは回復が遅れる懸念が強まっており、中国でも需要の減速が目立っています。

このような経営環境の中、当社グループでは、開発・提案力を更に強化し、よりタイムリーかつフレキシブルに世界各地のお客様の多様なニーズに対応できる物作り体質の実現に取り組むとともに、受注変動に柔軟に対応する生産・技術領域の体質改善に取り組み、全社的原価低減を目指しています。

当第2四半期連結累計期間の業績については、国内・中国の減産等の影響があったものの、北米・アジアの増産が売上を牽引し、売上高は112,185百万円（前年同期比24.2%増）、営業利益は6,060百万円（前年同期比48.5%増）、経常利益は5,463百万円（前年同期比38.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,462百万円（前年同期比50.3%増）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日本

売上高は、主要得意先の減産による量産売上の減少があったものの、試作売上の増加等が寄与して、26,446百万円（前年同期比2.1%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、減価償却費の増加があったものの、生産・技術領域での原価低減活動を強力に行った結果、918百万円（前年同期比71.4%増）となりました。

②北米

売上高は、得意先の増産による量産売上の増加や新機種立ち上げによる型設備売上の増加に加え、為替影響により、46,152百万円（前年同期比45.1%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、増収効果等により、2,501百万円（前年同期比76.5%増）となりました。

③欧州

売上高は、型設備売上の増加に加え、為替影響により、6,147百万円（前年同期比22.5%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、労務費及び製造経費の増加等があったものの、増収効果により、722百万円（前年同期比29.1%増）となりました。

④アジア

売上高は、主力市場であるタイでの生産が回復基調にあり、19,627百万円（前年同期比37.2%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、増収効果に加え、昨年度からのタイでの原価低減の取組み等により、1,813百万円（前年同期比185.2%増）となりました。

⑤中国

売上高は、生産台数の減少や機種構成の悪化があったものの、為替影響により、15,560百万円（前年同期比0.7%減）となりました。セグメント利益（営業利益）は、機種構成の悪化や、減価償却費の増加により、75百万円（前年同期比92.2%減）となりました。

⑥南米

売上高は、量産売上及び新機種立ち上げによる型設備売上の増加等により、5,783百万円（前年同期比16.3%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は、増収効果等により、214百万円（前年同期比212.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より166百万円減少し、227,524百万円となりました。これは主に、売掛金及び仕掛品の減少によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より3,299百万円減少し、108,346百万円となりました。これは主に、短期借入金及び未払金の減少によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末より3,132百万円増加し、119,177百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、14,484百万円となり、前連結会計年度末に比べ、3,263百万円増加しました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期連結累計期間に比べ、9,298百万円増加し、17,258百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期連結累計期間に比べ、8,309百万円減少し、12,536百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期連結累計期間に比べ、11,375百万円増加し、3,791百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増減額の増加及び長期借入による収入の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年度3月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年4月24日発表の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したG-TEKT MEXICO CORP S.A. DE C.V.を連結の範囲に含めておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,696	14,901
受取手形及び売掛金	33,588	31,826
製品	920	933
仕掛品	21,034	17,656
原材料	2,568	2,796
貯蔵品	774	804
その他	5,525	5,974
流動資産合計	76,108	74,893
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	49,016	51,913
機械装置及び運搬具(純額)	41,301	40,059
工具、器具及び備品(純額)	25,455	22,990
土地	11,759	11,894
建設仮勘定	11,619	14,249
有形固定資産合計	139,152	141,107
無形固定資産	2,118	2,324
投資その他の資産		
投資有価証券	8,486	7,018
その他	1,824	2,180
投資その他の資産合計	10,311	9,198
固定資産合計	151,581	152,630
資産合計	227,690	227,524
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,974	20,689
短期借入金	27,354	25,453
1年内返済予定の長期借入金	11,678	11,891
未払金	8,110	7,349
未払法人税等	450	566
賞与引当金	1,021	1,459
その他	5,988	5,759
流動負債合計	75,578	73,169
固定負債		
長期借入金	27,905	27,505
退職給付に係る負債	1,123	1,077
役員株式給付引当金	—	44
その他	7,037	6,548
固定負債合計	36,066	35,176
負債合計	111,645	108,346

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,657	23,657
利益剰余金	53,941	56,814
自己株式	△21	△370
株主資本合計	82,234	84,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,504	2,251
繰延ヘッジ損益	△39	—
為替換算調整勘定	19,960	20,474
退職給付に係る調整累計額	40	62
その他の包括利益累計額合計	22,466	22,788
非支配株主持分	11,343	11,631
純資産合計	116,044	119,177
負債純資産合計	227,690	227,524

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	90,339	112,185
売上原価	80,694	99,927
売上総利益	9,644	12,258
販売費及び一般管理費	5,563	6,197
営業利益	4,080	6,060
営業外収益		
受取利息	184	65
受取配当金	62	64
為替差益	25	—
持分法による投資利益	—	3
その他	230	189
営業外収益合計	503	323
営業外費用		
支払利息	417	592
為替差損	—	300
持分法による投資損失	190	—
その他	22	27
営業外費用合計	630	919
経常利益	3,954	5,463
特別利益		
固定資産売却益	11	55
投資有価証券売却益	—	116
特別利益合計	11	172
特別損失		
固定資産売却損	8	3
特別損失合計	8	3
税金等調整前四半期純利益	3,957	5,632
法人税等	1,299	1,435
四半期純利益	2,657	4,196
非支配株主に帰属する四半期純利益	353	734
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,304	3,462

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	2,657	4,196
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	337	△253
繰延ヘッジ損益	21	39
為替換算調整勘定	△1,016	308
退職給付に係る調整額	18	22
持分法適用会社に対する持分相当額	△37	12
その他の包括利益合計	△676	128
四半期包括利益	1,981	4,325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,438	3,783
非支配株主に係る四半期包括利益	542	541

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,957	5,632
減価償却費	7,609	11,613
のれん償却額	41	48
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△112	△10
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	13	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	387	434
受取利息及び受取配当金	△246	△130
支払利息	417	592
持分法による投資損益(△は益)	190	△3
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△116
固定資産除売却損益(△は益)	△3	△51
売上債権の増減額(△は増加)	1,525	1,634
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,730	1,315
仕入債務の増減額(△は減少)	△914	78
未収又は未払消費税等の増減額(△は減少)	△634	5
前受金の増減額(△は減少)	348	△64
未払金の増減額(△は減少)	436	△1,171
その他	1,051	△344
小計	10,336	19,461
利息及び配当金の受取額	248	130
利息の支払額	△412	△603
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,213	△1,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,959	17,258

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△49	57
有形固定資産の取得による支出	△19,205	△12,505
有形固定資産の売却による収入	35	1,110
無形固定資産の取得による支出	△217	△240
投資有価証券の取得による支出	△41	△1,016
子会社株式の取得による支出	△1,268	△77
投資有価証券の売却による収入	—	143
その他	△99	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,846	△12,536
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,195	△1,931
長期借入れによる収入	9,378	5,568
長期借入金の返済による支出	△5,589	△5,877
割賦債務及びファイナンス・リース債務の返済による支出	△73	△377
セール・アンド・リースバックによる収入	370	—
自己株式の取得による支出	△0	△349
配当金の支払額	△482	△570
非支配株主への配当金の支払額	△214	△254
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,584	△3,791
現金及び現金同等物に係る換算差額	127	900
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,175	1,829
現金及び現金同等物の期首残高	16,117	11,221
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,305	—
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	1,433
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,247	14,484

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	19,004	31,385	5,014	14,296	15,663	4,974	90,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,898	423	2	12	7	—	7,344
計	25,903	31,809	5,017	14,309	15,670	4,974	97,683
セグメント利益	535	1,416	559	635	974	68	4,191

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,191
セグメント間取引消去等	△69
のれんの償却額	△41
四半期連結損益計算書の営業利益	4,080

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	19,780	45,656	6,144	19,428	15,392	5,783	112,185
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,665	496	3	199	167	—	7,531
計	26,446	46,152	6,147	19,627	15,560	5,783	119,717
セグメント利益	918	2,501	722	1,813	75	214	6,246

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	6,246
セグメント間取引消去等	△138
のれんの償却額	△48
四半期連結損益計算書の営業利益	6,060

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、重要性の増したG-TEKT MEXICO CORP S.A. DE C.V.を連結の範囲に含め、新たに「北米」セグメントに加えております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。